

## 取組と目標に対する自己評価シート（フェイスシート）

## タイトル ① 高齢者自身が担い手となる地域づくりの取組

## 現状と課題

本市の令和2年度認定率は16.3%であり、平成27年度から同程度で推移し、全ての年で全国・香川県より低い水準で推移しているが、第8期介護保険事業計画作成時の介護予防・日常生活圏域ニーズ調査では、前期高齢者よりも後期高齢者において介護・介助の必要性を感じている方が多い傾向にあり、運動器の機能低下の可能性のある高齢者は後期高齢者では男性29.6%、女性26.5%となっている。また、転倒の可能性のある高齢者は37.5%を占めており、特に女性の後期高齢者は53.1%と最も多く、前期高齢者と比較して、26.0ポイント高くなっている。

以上のことから、高齢になっても、可能な限り介護を必要とせず健康で自立した生活を送ることができるよう、現役世代から後期高齢者まで切れ目なく保健事業を実施し、早期からの健康づくりと介護予防に関する意識啓発や高齢者の心身の多様な課題に対応したきめ細やかな支援、誰もが参加しやすく活動できる地域の通いの場や介護予防事業の充実に努める。

## 第8期における具体的な取組

- ・健康の増進
- ・高齢者の生きがいつくり
- ・一般介護予防事業の推進

## 目標（事業内容、指標等）

- ・健康の増進

保健事業と介護予防の一体的実施に取り組み、健診データ等を参考に個別支援が必要な高齢者の訪問指導を充実する。また、保健師等が通いの場に積極的に関与し、健康相談に応じるとともに、フレイル予防の普及啓発を行い、健康寿命の延伸を図る。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
健康相談件数（件）※	220	220	220
訪問件数（件）※	920	920	920

※件数は高齢者以外の成人を含む

- ・高齢者の生きがいつくり、一般介護予防事業の推進

高齢者個々の状況やニーズを把握し、元気なうちから介護予防に興味を持つことができるよう、介護予防の必要性と高齢者が誰でも参加できる取組について周知し、一般介護予防事業を推進する。また、地域でリーダー的役割を担い活動できる人材を発掘・養成し、地域における主体的な介護予防活動、高齢者の社会参加や地域交流を促進する。

年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
足うら健康クラブ 延参加者数（人）	460	480	500
足うら健康サロン 開催回数（回）	15	20	25
くすの木クラブ（運動） 延参加者数（人）	2,900	3,000	3,100
くすの木クラブ（脳トレ） 延参加者数（人）	950	1,000	1,050
介護予防サポーター数（人）	155	160	165

#### 目標の評価方法

- 時点
  - 中間見直しあり
  - 実績評価のみ
- 評価の方法
  - ・ 健康相談件数、訪問件数
  - ・ 介護予防事業の実施状況、参加者数
  - ・ 介護予防サポーター数